

そよかぜ

ふれあい看護体験・中学生職場体験



ふれあい看護体験・中学生職場体験を令和元年8月7日に開催したところ、今年は県内の高校生20名、市内の中学生12名の参加がありました。

看護体験としては、午前と午後に分かれ、患者さんと直接話をしながら、手浴や足浴などの体験をしてもらいました。また、外科系の病棟では包帯の巻き方や手術後の部屋の準備などを体験してもらいました。

講義室では、学生同士でベッドから車椅子への移乗や体位変換の方法などを理学療法士から説明を受け体験してもらいました。

また、人体模型を使って心臓マッサージの体験やマスク換気・AEDの操作説明を医師から受け実施することも出来ました。



看護体験だけでなく病院で働くさまざまな職業の現場も見学してもらいました。沢山の場所を見学してもらった為に、各部署での時間が短くなってしまいました。しかし、体験後のアンケートには、患者さんや家族に寄り添いながらチームで医療に関わっていることがわかった。と記載されていました。今の医療はチームで関わることが大切です。その部分に気が付いていただけた事は、ふれあいプロジェクト委員会としては嬉しい事でした。今年度参加された学生さんが1人でも多く、「この病院で一緒に働きたい」という気持ちを持ってもらえたらと思います。

